

遊びながら、論理的思考や問題解決力を育む
「コーディングロボット クリス」新発売
2020年より小学校で必修となるプログラミングの入門として最適

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、楽しみながら論理的思考や問題解決力を育む「コーディングロボット クリス」を、全国のボーネルンドショップおよびオンラインショップで11月20日から販売します。

指示(=コード)が可視化できるから、自分で間違いを発見してリトライできる



- 商品名 : コーディングロボット クリス
- 対象年齢 : 5歳頃～
- 価格 : 15,000円+税
- メーカー : エデュトイー(香港)
- サイズ : ロボットの高さ13cm

「コーディングロボット クリス」は、ロボット(クリス)を動かしたい順番に、コーディングブロックをセットして指示を送ると、ロボットがコード(指示)通りにマップ上を動く遊具です。2020年より小学校で「プログラミング」が必修となるなか、プログラミングの基礎となる「コーディング」に遊びながら触れられます。

特長は、自分が考えたコード(指示)をコントロール盤上で可視化できることです。ロボットを動かした後もコントロール盤にブロックが残っているので、コード(指示)で間違ったところを自分自身で発見して修正し、再度挑戦することができます。遊びながら、プログラミングに必要な論理的な思考力はもちろん、自分で考えながら問題を発見して解決する力も自然と身についていきます。

また、16種類の問題カードが付いているので、簡単な問題から難しい問題へステップアップしながら遊べます。さらに、わざとマップからはみ出すコードで動かしてみたり、手当たり次第にブロックをはめてどんな動きをするか観察してみたりなど、自分流に遊び方を発展させることもできます。

コーディングロボット クリスの遊び方



クリスを動かしたい順番に、コーディングブロックをコントロール盤にはめる

クリスのヘルメットを本体から外して、ヘルメットをコントロール盤にセットして送信ボタンを押す

ヘルメットをクリス本体にセットする

マップのスタート位置にクリスを置き、本体ボタンを押すと、指示通りにクリスが動きだす

【ボーンネルンドについて】

ボーンネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国78ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では全国21ヶ所、年間約277万人、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約30ヶ所、年間350万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンネルンド 広報室
担当: 村上

TEL: 03-5785-0860、080-5901-3591
e-mail: public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーンネルンド
TEL: 0120-358-518(月~金 10:00~17:00)